

子どもの学びと教師の学び

～若手教員スキルアップ研修より～

8月18日（月）、20日（水）に、若手教員スキルアップ研修を実施しました。本研修は、「子どもの学びと教師の学び」は相似形であるという考え方のもと、企画・運営しています。ポイントを3つにまとめているので、校内研修を計画する際や日頃の授業づくりにお役立てください。

ポイント①：「自分なりのめあて」の設定

研修の最初に、研修の目的や視点、各自の課題意識を基に、「自分なりのめあて」を設定しました。参加者は、自分の学びたいことを明確にして研修に臨みました。



←クラウドで共有
互いのめあてを見合い（他者参照）、自分の課題を一層明確化

<参加者が設定した「自分なりのめあて」>

引き出したい振り返りを意識した授業づくりについて、先生方と意見交換をしながら学びたい。

これからの時代に求められる人材の育成への意識を高めたい。

教師の学び

本研修：参加者が「自分なりのめあて」を設定し、主体的に研修に臨めるようにする



子どもの学び

授業：児童生徒が自ら課題を設定したり、問いをもったりすることで、主体的に学習に取り組むようにする

ポイント②：他者との対話

思考を広げたり深めたりするためには、他者との対話が不可欠です。本研修では、次のように対話の場面を複数設定しました。

- ・研修動画を視聴した後、ジグソー法による協議
(同じ動画を見たグループでの協議→それぞれ違う動画を見たグループでの協議)
- ・同教科の参加者同士での指導案検討（同じ立場の他者と）
⇔ミドルリーダー（指導者）との指導案検討（異なる立場の他者と）
- ・ミドルリーダーを囲んでの座談会 悩みや対策の相談、共有



<参加者の振り返り>

グループでの話合いで、自分にはない新しい視点に気付けた。同僚や同期と、研修等様々な関わりをもち、学び続けていきたい。

教師の学び

本研修：他の参加者、ミドルリーダーとの対話により、多様な価値観や専門性に触れる



子どもの学び

授業：他の児童生徒、教員や地域の方々との対話により、多様な価値観や専門性に触れる

自分の考え（見方・考え方等）を教科・修正・更新

ポイント③：振り返りと共有

研修の最後には、参加者が学びを振り返り、共有する場面を設定しました。自分なりのめあてをもとに、研修を通して学んだことを言語化し、今後の実践への具体的な見通しをもつことができました。



<参加者の振り返り>

単元計画、ICTの活用、振り返りの3グループに分かれて協議した。いろいろな先生方と繰り返し話し合う中で、新しい気付きが得られ、「学び続ける教師」であることの大切さを実感できた。

一番の学びは「単元全体を貫く視点」の大切さです。今までは、毎回違う活動を入れて生徒の反応をよくしようとしていましたが、それよりも単元を通して学びがつながることが重要だと気付き、その先に本当の楽しさがあると感じました。

研修が「めあてをもって動画で学ぶ→グループで協議→指導案に生かす」という学びのサイクルで構成されていたこと自体が大きな学びとなった。授業づくりにも同様の流れを取り入れていきたい。

引き出したい振り返りから逆算した授業づくりで、子どもの姿を具体的にイメージできた。この方法での授業づくりを、他の授業でもやっていきたいと思った。

教師の学び

本研修：「自分なりのめあて」に対して本研修で学んだことを振り返り、共有する。今後の実践に生かす。

子どもの学び

授業：めあてに対して本時で学んだことを振り返り、共有する。次の学習につなげる。



➡自分が学んだことや自身の変容を、学び方も含めてメタ認知（自らの学習を調整）

研修で扱った動画を紹介します

最後に、本研修で参照したオンデマンド動画を紹介します。校内研修や自己研鑽にぜひ御活用ください。

- ・ NITS 研修動画「授業・単元づくり編『単元指導計画の立て方』」（約 12 分）
<https://www.youtube.com/watch?v=cdfki3Wi1AQ>
- ・ NITS 研修動画「授業・単元づくり編『教材研究の方法』」（約 11 分）
<https://www.youtube.com/watch?v=s4p59-7o8QQ>
- ・ NITS 研修動画「授業における ICT 活用～ICTを活用した授業改善」（約 12 分）
<https://www.youtube.com/watch?v=b-F-Sk7hB-Y>
- ・ 文科省動画「これからの GIGA!!教科の学びをどう深める!!」（約 57 分）
<https://www.youtube.com/watch?v=IbvS65qEMo4>